

### 合計特殊出生率の年次推移(昭和35年～令和2年)

	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
大阪市	1.80	2.04	1.91	1.62	1.48	1.59	1.40	1.29	1.23	1.15	1.26	1.26	1.17
大阪府	1.81	2.20	2.17	1.90	1.67	1.69	1.46	1.33	1.31	1.21	1.30	1.39	1.31
全国	2.00	2.14	2.13	1.91	1.75	1.76	1.54	1.42	1.36	1.26	1.39	1.45	1.33

合計特殊出生率は、15歳から49歳までの女性の出生率(「母の年齢別出生数」÷「年齢別女子人口」)を合計したもので、女子が一生の間に産む子供の数として用いられる。

大阪市の合計特殊出生率は大阪市保健所で算出。

国勢調査年の算出に用いた人口は、総務省統計局「国勢調査」の女子人口(日本人)で、昭和40年以外は第1次基本集計結果報告、昭和40年は20%抽出結果による。

平成12年・平成17年は、「不祥人口(日本人)」を按分した人口を用いた。

平成22年は1.21と推計公表していたが、厚生労働省の公表値1.26に修正している。

平成27年度については「平成27年国勢調査 年齢・国籍不詳をあん分した人口(参考表)」を分母に用い、率については厚生労働省の公表している値を採用している。

令和2年度については「令和2年国勢調査の日本人人口(不詳補完結果)」を分母に用い、率については厚生労働省の公表している値を採用している。

出生数及び大阪府・全国の合計特殊出生率は厚生労働省「人口動態統計」による。

合計特殊出生率の年次推移<大阪市・大阪府・全国>

